

畜産部

葛尾村「株」佐久間牧場」  
営農再開について

原発事故による避難指示が解除された葛尾村にある佐久間牧場で、1月11日(金)、原乳の出荷が再開されました。飼養実証試験や検査を経て、出荷再開の日を迎えた佐久間哲次氏は、「ここまで長かった。やっとスタートラインに立つことができた」と笑顔を見せました。

約8年ぶりに酪農家の日常が佐久間牧場に帰ってきました。搾乳、餌やり、除糞や哺乳といった作業に加え、この日の佐久間牧場に「集乳車」の姿がありました。避難指示が解除された地域での原乳出荷再開は橋本町、川俣町山木屋地区に続き3例目となりました。

今日のこの日を迎えるまでには、様々な苦難、課題が待ち構えていました。出荷再開に向け安全・安



佐久間さん親子 (左: 父親の佐久間信次氏、右: 佐久間哲次氏)

心を確保するため、風で舞い上がった周囲の土や落ち葉などが牛舎内に入らないよう設備を整えるとともに、昨年9月に初妊牛を8頭導入し、計16回の原乳モニタリング検査を行いました。全ての検査で放射性物質が不検出となり、晴れて出荷再開の日を迎えることができました。

集乳された原乳は、通常の放射性物質検査体制に加えて定期的な自主検査も行い、安全性を担保していきます。今後は震災前と同等の飼養規模に戻すとともに、さらなる規模拡大へ意欲的な佐久間氏。「消費者に安全・安心な牛乳を届け、被災地の酪農家に勇気を与えたい」と決意を新たにしています。



牛の世話をしている佐久間氏

園芸部

平成30年度花きセミナー並びに  
第45回福島県花き品評会表彰式

2月8日(金)、「平成30年度花きセミナー並びに第45回福島県花き品評会表彰式」を、郡山市の福島県農業総合センターで開催しました。

第45回花き品評会は、平成30年8月31日に開催し、164点の出品の中から、金賞3点、銀賞10点、銅賞18点が選出されています。

花きセミナーに先立って行われた表彰式では、農林水産大臣賞の菅家博昭さん(宿根カスミソウ、J A会津よつば)、東北農政局賞の生産者グループ、合子りんかの皆さん(リンドウ、J A福島さくら)、福島県知事賞の鈴木茂さん(夏はぜ、J A東西しらかわ)をはじめ、受賞者代表の方に、賞状と記念品を授与しました。受賞された皆さん、誠におめでとうございました。

引き続き行われた花きセミナーでは、まず初めに、「切花の輸出について」と題し、(株)フラワーカーションジャパン

切花部 次長 堀江素子氏から、全国的な花き輸出の現状、他産地の



受賞者の皆さん



SFA プログラムによるフラワーアレンジメント

輸出に対するさまざまな取り組みなどについてお話いただきました。次に、「花きの医療における利用法とその効果」と題し、農研機構 広報プランナー(兼任) 野菜花き研究部門 品質制御ユニット 上級研究員 望月寛子氏から、花きが人にもたらす効果や医療的な利用法についてお話をいただいたあと、セミナー参加者へ交えて生花を利用した認知リハビリテーションプログラムである「SFAプログラム」による、フラワーアレンジメントの実演を行いました。

生産資材部

水稻の消毒済種子ご購入の皆さまおよび  
種子消毒剤「モミガードC・DF」をお使いの皆さまへ

モミガードC・DFは種子に起因する病害を幅広く予防できる剤として、平成30年産消毒済み種籾の消毒剤として採用されました。ワイドスペックで効果の高い種子消毒剤ではありませんが、浸種時に用いる機器にシャワー機能やエアレーション機能がある場合は下記のような注意が必要となりますのでご確認をお願いします。

なお、本チラシはJAを通じてご購入者のみなさまにお届けいたします。



水稻の消毒済種子ご購入の皆さまおよび  
モミガードC・DFをお使いの皆さまへ

【平成30年産消毒済種子の薬剤が変更になりました】  
◆県内種子場産の種子は平成30年産より『いもち病』や『ばか苗病』だけでなく、『もみ枯細菌病』や『苗立枯細菌病』にも有効な種子消毒剤に変更となりました。



消毒済種子、モミガードC・DFで消毒した種子を  
浸種する際の注意事項

ハト胸催芽機やエアレーション付きの水槽で浸種する場合、黒色の粘性物質が発生する場合がありますので、以下の点に注意して下さい。

- ① **ハト胸催芽機の場合**  
シャワー循環を止めて水循環のみにしてください。
- ② **エアレーション付き水槽の場合**  
エアレーションを弱めに調整し時間を短くしてください。(泡の発生を少なくすることで汚れを軽減することができます)

・浸種の最初の3日間は水交換せず、停滞水で行って下さい。  
・温水での浸種は細菌病の発生を助長しますので、浸種水温は10~15℃程度として下さい。



【粘性物質が発生しても、効果の低下や薬害はありません】

粘性物質が出た際の器具の洗浄について  
①熱湯をかけてふき取るか、温かい湯に漬けてください。  
②取れない場合は、市販のエタノールを布に含ませ拭き取ってください。

ご不明な点は、最寄りのJAまで お問い合わせください。  
福島県・JA全農福島・福島県米改良協会 北興化学工業株式会社